

レジメン番号	0657	レジメン名	DCd療法（2コース目）
登録診療科	血液内科	使用薬剤	カイプロリス、ダラザレックス、デキサート
がん腫	多発性骨髄腫	インターバル日数	28日

【投与量・投与スケジュール】

薬品名 投与量/体表面積	投与方法	患者 投与量	Day1 ( / )	Day2 ( / )	Day8 ( / )	Day9 ( / )	Day15 ( / )	Day16 ( / )	Day22 ( / )	…Day28
カイプロリス 56mg/m <sup>2</sup>	点滴	mg	↓	↓	↓	↓	↓	↓		4週間を 1クール
ダラザレックス 16mg/kg	点滴	mg	↓		↓		↓		↓	
デキサート 20mgまたは40mg	点滴	mg	↓ (20mg)	↓ (20mg)	↓ (20mg)	↓ (20mg)	↓ (20mg)	↓ (20mg)	↓ (40mg)	

(支持療法)

※3 Day1,2,8,15,22 経口剤あり

【当日の投与方法】

薬品名	規格	希釈液/量	投与速度/方法
① カイプロリス	10mg	5%ブドウ糖 100ml	30分/点滴
	40mg		
② ダラザレックス	100mg	生食 500ml	※3 下記参照/輸注ポンプ
	400mg		
③ デキサート	3.3mg	5%ブドウ糖 100ml	30分/点滴
④ デキサート	3.3mg	生食 100ml	30分/点滴
⑤ 生食	50ml		5分/点滴

《Day1,8,15》：メインルートなし

投与間隔》 (30分) (30分) (5分) (5分)  
 投与順番》 ③ → ① → ⑤ → ② → ⑤ → 終了

《Day2,9,16》

投与間隔》 ⑥ ※1(メインルート) ③ (30分) ① (30分) ⑤ (5分) 終了  
 投与順番》 ⑥ → ③ → ① → ⑤ → 終了

《Day22》

投与間隔》 ※1(メインルート) (30分) (5分)  
 投与順番》 ⑦ → ④ → ② → ⑤ → 終了

【備考】

※1 ⑥5%ブドウ糖 100ml(メインルート) (Day9・16) ⑦生理食塩液 500ml(メインルート) (Day22)

※2 カイプロリスまたはダラザレックス投与 1～3 時間前に、解熱鎮痛剤（アセトアミノフェン 1000mg）及び抗ヒスタミン剤の予防投与を行う

※3 ダラザレックス投与速度

投与時期	希釈後の総量	投与開始からの投与速度 (ml/h)			
		0～1 時間	1～2 時間	2～3 時間	3 時間以降
初回投与	1000ml	50	100	150	200
2 回目投与	500ml <sup>注1</sup>				
3 回目投与以降	500ml	100 <sup>注2</sup>	150	200	

注1：初回投与開始時から 3 時間以内に infusion reaction が認められなかった場合、500ml とすることができる。

注2：初回及び 2 回目投与時に最終速度が 100ml/h 以上で infusion reaction が認められなかった場合、100ml/h から開始することができる。